

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 9 月 4 日 (2008.9.4)

【公表番号】特表 2004-503661 (P2004-503661A)
 【公表日】平成 16 年 2 月 5 日 (2004.2.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-005
 【出願番号】特願 2002-510629 (P2002-510629)
 【国際特許分類】

C 1 1 D 1/825 (2006.01)

B 0 8 B 3/08 (2006.01)

C 1 1 D 17/08 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 1/825

B 0 8 B 3/08 Z

C 1 1 D 17/08

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 6 月 23 日 (2008.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

0.05 ないし 5.0 重量パーセントを構成する第 2 アルコールエトキシレート界面活性剤、0.075 ないし 5.0 重量パーセントを構成するアルキルポリグリコシド界面活性剤、0.01 ないし 1.0 重量パーセントを構成するキレート剤、および水からなる水性多目的洗浄溶液であって、該溶液の pH がアルカリ性である溶液。

【請求項 2】

0.25 ないし 2.50 重量パーセントを構成する第 2 アルコールエトキシレート界面活性剤、0.10 ないし 1.50 重量パーセントを構成するアルキルポリグリコシド、0.01 ないし 0.4 重量パーセントを構成するキレート剤、8.0 ないし 12.5 の pH を与えるのに十分な量を構成する pH 改变剤、香料、および水からなる水性多目的洗浄溶液。

。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

これらの組成物が共通に保持する鍵となる特性は 11.5 を上回るが 15.0 未満である HLB 値である。HLB 値という用語は親水性親油性平衡値、水溶解度および洗浄剤組成物にとって重要な特性である良好な乳化をもたらす能力の尺度を指す。一般的には、約 10 未満の HLB 値を有する組成物は水への溶解性が不十分な傾向がある。